

発行
2013年
7月
1日

み と し ん ぶ ん
未杜新聞

地域通貨：未杜

49
号

あなたの参画が多様性を認め合うコミュニティづくりの輪へ
あなたの余剰を分かち合う優しさが丹波の自然をまもる輪へ
あなたのすてきな能力の提供がコミュニティの自立と共生へ



人権・環境・共生

発行所：NPO 法人丹波まちづくりプロジェクト事務局：〒669-3571 丹波市氷上町新郷 1574

* 編集人：赤井俊子 Tel/Fax0795-82-0065 E-mail：syunko27@yahoo.co.jp URL：<http://mito.tamba.tv>

新入会員(敬称略)：○ 富田信孝(氷上町)

掲載希望の記事、未杜流通を希望するサービスや物品がありましたらご連絡下さい。

「ふるさと」論を再考しよう

最近、コミュニティの再生あるいは地域活性化に向けた有効な手段として「ふるさと」論議が兵庫県を始め各地で盛んである。

関連する会議や文献等で多数の方々によって論じられている具体的な「ふるさと」論は極めて多様であるが、いずれも一理あるように思われる。ことに、時間的に過去に遡り始めると、止めどなき私の「ふるさと」が披露されて收拾がつかなくなるようだ。それでは「ふるさと」は際限なく発散して、収斂しないに違いない。

それでは「ふるさと」を活用するための具体的な対策をたてることはとうてい覚束ない。しかし、これらの要素が縦軸と横軸になり、それらが交差する「場」に多数の人が集い交流する「ふるさと」が形成されると考えるのはどうであろう。

そこで多くの「ふるさと」論の最大公約数的な要素を抽出して、それによってなんとか集約化を模索することを試みるのはどうであろうか。

その際あまり多数の要素では集約が難しいので、候補として「連帯感」と「物語性」ではどうかと思われる。このうち「連帯感」は最近よく耳にする「絆」と読み替えてもいいし、「物語性」は「歴史」としてもいい。

いずれにしても、この「絆」と「歴史」を縦軸と横軸にした意見の集約の上に「ふるさと」論を展開する。そしてこの「場」には必ずしも地理的な広がりである必要はなく、抽象的なものでもいい。外部からみた「ふるさと」の観念も、抽象的なものも含める中で、「ふるさと」論を展開し、集約そして対策をたて、実践するという形を提案するものである。

未杜男

予告 <7月未杜井戸端会議>

日時：7月17日（水）19時30分～
場所：氷上住民センター実習室

内容：トラッキング現象による火災について
お話し：ビジョン委員会グループ「サルが出た」
参加費：200未杜又は300円

<8月未杜井戸端会議は休みます>

<9月未杜井戸端会議>

日時：9月18日13時30分

場所：柏原住民センター

内容：手作り絵本講座

あなただけの絵本を作ってみませんか
お子さんやお孫さんのために作ってみる
のも楽しいと思います
簡単にできる短時間でできる絵本づくり
を教えてくださいます

講師 手作り絵本講師 村上祐喜子さん
参加費：200未杜又は300円

報告

2013年度総会&4月未杜井戸端会議
総会の様子



4月未杜井戸端会議
講演：幸せな終末にむけて
無量寺住職 河口珠輝氏



<5月未杜井戸端会議>

地域探訪として氷上町福田地区を歩き地域自慢のネタを探しました。自治会長の田野さんにお話をききました。



福田の自慢：観音さんを見学



<6月未杜井戸端会議>

芦屋ボランティア連絡会と交流

以下のようなスケジュールで一日が過ぎました

平成25年6月5日(水)

場所: 芦屋市保健福祉センター 1階ホール

第1部: 10:00~12:00 活動発表と意見交換会

第2部: 12:00~13:30 昼食を取りながら、
親睦交流

第3部: 14:00~15:00 芦屋市立美術博物館

谷崎潤一郎記念館 見学

: 15:00~16:30

シェフ・アサヤマにてカフェタイム



谷崎潤一郎記念館見学



シェフ・アサヤマにて、左奥が森代表



連絡会の代表 森幸子さんのあいさつ



各グループのワークショップの発表



ランチタイム

編集室より…話題2つ

未杜新聞編集の直前までハワイにいました。その不在中に会員のAさんより届けられた新聞切抜き「エシカル消費」とハワイで体験した「ロービーガンレストラン」の2つの話題です。どちらもカタカナで恐縮ですが考えさせられる内容でしたので共有したいと思います。

○エシカル消費

エシカル(ethical)とは「倫理的」「道徳上」という意味の形容詞です。特に近年英語圏において少し踏み込んだ意味を持つようになりました。ここでいうエシカルとは環境や社会に対する配慮を意味します。つまりエシカル消費とは「倫理的＝環境保全や社会貢献」を意識した消費の仕方ということです。つまり商品・サービスの価格と自分への効用という単純な視点でなく地球環境や社会貢献といったより広い視野での効用求める消費の仕方です。消費者は単に商品やサービスを手に入れるだけでなく購入することによる派生効果や将来へのインパクトにまで目を向けます。例えば有機栽培の農産

物を購入する、また児童労働によって発掘されたジュエリーなどは購入しないなどです。まだまだ言葉の認知度は低いですが言葉は知らなくても環境配慮や社会貢献につながる商品を買いたいという人は今後増えていくと思われます。

○ ロービーガン

ロービーガン(raw vegan)とは生菜主義者という意味です。ベジタリアンという言葉を知ったことのある人は多いと思います。ベジタリアンは菜食主義者ですが一般に肉、魚はだめでも卵、牛乳、チーズは食べます。ロービーガンはベジタリアンより厳しく肉・魚はもちろん卵、チーズ、牛乳も食べません。しかも「生」のものですから45度C以上の熱を加えたものは食べません。45度以上で焼いたものや炊いたものは食べないわけです。生で食せる果物、野菜、ナッツなどが主な食べ物です。

【加熱食】は、わざわざ生きている物を【殺して】酵素、ビタミン、ミネラルなど必要な栄養素を、減らして(無くして)食べているので栄養が足りなくなると言います。また、ロービーガンたちは、人が自らの食を満たすために不自然な方法で家畜を飼育していることへの抗議の意味も含め実践している場合もあります。



玉ねぎとナッツで作られたパン(?) (左)
ズッキーニを麺にみたてたパスタ(右)

4月以降にご寄附いただいた方です
ありがとうございました。

- 大野義昭様 (埼玉県)
- 丹波の宿恵泉(江戸悌子)様(春日町)
- 仲井昌子様(春日町)
- 由良ゆかり様(氷上町)

会員 紹介

今月は氷上町の臼井八洲郎さんです。



未杜には発足当時より入会してはいますがなかなか出席できていません。地域通貨の趣旨はぼんやり分かっているものの十分な活用ができていないのが現状です。

私のモットーは「人との出会いを大切にすること」です。人との出会いから始まって互いの思いを伝え、分かり合えればそれは出会いの喜びとなります。未杜はそういう出会いの場をつくる会でもあると思います。また未杜は井戸端会議などを通じて人材育成的な役目もしていると思います。

それらとは別に「酒を酌み交わす」、ノミネーションは人と仲良くなる方法の一つです。深酒になってはいけませんが互いに本音で話せる手段であると思います。最近はジョークを取り入れることにも心がけています。

趣味というほどものではありませんが仲間と山登りに行くこともあります。旅行や観光も好きですが一人ではなかなか行けないのでツアーなどに申し込んで気分転換を図ります。

また少し農業もやっています。満足できる生産にはたどりつくことができずややもすると赤字になるのがおちです。

昨年の市議会選挙で当選させていただきその重責を感じています。市民のパイプ役とよく言われますがそれぞれの地域の願望と市レベルの考え方があるのも事実です。行政と議会は両輪ですが市政に対しては潰すのではなく議論し、正していくことが大事です。

何をしてくれるのかではなく一緒にどう取り組むかにつけるのではないのでしょうか。